Canon

Webcam Driver
使用説明書

ご使用の前に必ずこの使用説明書をお読みください。

日本語

目次

はじめに....3
この製品の使用に関するご注意 3
第三者のソフトウェアについて 3
ソフトウェアの使用許諾契約.... 3
商標.... 3
使用説明書について 3
ご注意 4
前提条件 4
ソフトウェアの画面例 4
本書で使用している記号 4
Webcam Driverについて....5
動作環境....5
システム要件.... 5
PC 推奨環境 5
対応カメラ.... 5
制限事項 5
インストール 6
カメラを登録する....7
Web会議ツールとの接続....10
画像調整 ・カメラ制御機能.... 10
トラブルシューティング....11

はじめに

この使用説明書は、Webcam Driver (以下、「本ソフトウェア」) の設定や操作方法について説明しています。ご使用前によくお読みになり、本ソフトウェアを正しく利用してください。

この製品の使用に関するご注意

■ 第三者のソフトウェアについて

この製品には、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。ライセンス条件につきましては、インストーラーとともに提供されるテキストファイルをご参照ください。

メ モ

- 商用配信を含む配信については、第三者ライセンスが必要な場合があります。

本製品の一部には、ライセンスの規定によりソースコードが提供されるソフトウェアを含みます。
ソースコードの入手をご希望の方は、下記のいずれかでご連絡ください。

(1) ソースコードをダウンロードできるURLのメール通知をご希望の方
以下のURLへアクセスし必要事項を記入ください。
https://global.canon/ja/oss/scd/index.html

(2) ソースコードの郵送提供をご希望の方
下記【郵送提供時の項目】を明記の上、以下の住所まで日本語または英語で、郵便でご連絡ください。
住所 : 〒146-8501 東京都大田区下丸子3-30-2 キヤノン株式会社 オープンソース推進室
ソースコードを郵送で提供するにあたり、弊社からご提供に要した実費をご請求させていただく場合もございますので、その旨ご了承ください。
【個人情報の取り扱い】
個人情報の取り扱いにつきましては、キヤノングローバルサイトの以下のページをご確認ください。
https://global.canon/ja/oss/scd/privacy-notice.html
【郵送提供時の項目】
(1) 郵送先 (必須) : 国、郵便番号、住所、氏名を記入してください。
(2) メールアドレス (任意) : ソースコード提供時、確認が必要な場合に利用します。
(3) 機種名/アプリケーション名 (必須)
(4) バージョン (任意)
未指定の場合は、最新バージョンに対応するソースコードをお渡しします。

■ ソフトウェアの使用許諾契約

ソフトウェアの使用許諾契約については、インストーラーとともに提供されるテキストファイルをご確認ください。

商標

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- その他、本書に記載された商品名、社名などは各社の商標または登録商標です。

使用説明書について

本書はPCの画面上に表示して読むことを想定しています。

■ ご注意

1 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
2 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3 本書の内容については万全を期して作成しましたが、お気づきの点がございましたら、裏表紙に記載のお客様相談センターまでご連絡ください。
4 運用した結果の影響につきましては、上記2項、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 前提条件

本書は、ネットワークカメラ (以下、「カメラ」) とPCの設置、ネットワーク接続、および必要な設定が済んでいることを前提に書かれています。

■ ソフトウェアの画面例

本書に記載されているソフトウェアの画面は、説明のためのサンプルです。実際の画面とは異なることがありますので、ご了承ください。

■ 本書で使用している記号

記号	意味
メモ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。

Webcam Driverについて

本ソフトウェアは、カメラのIP配信映像をWeb会議ツールで使用するためのソフトウェアです。
本ソフトウェアに同一ネットワーク上のカメラを登録することで、そのカメラの映像や音声をWeb会議ツールで使用できます。
本ソフトウェアを使用する前に、カメラとPCの設置、ネットワーク接続、および必要な設定を行ってください。

動作環境

製品に関する最新情報 (使用説明書、動作環境など) は、ホームページをご確認ください。

システム要件

■ PC推奨環境

OS	Windows 11
CPU	Intel Core i7-8700以上
メモリー	8 GB以上
ディスプレイ	解像度 1920×1080以上

■ 対応カメラ

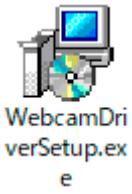
本製品のダウンロードページに記載される対応機種をご確認ください。

制限事項

- HTTPプロキシによる通信には対応しますが、実行するPCの環境変数やネットワーク設定に依存します。
- HTTPプロキシ認証には対応していません。
- 本ソフトウェアでカメラと通信中は、スリープおよび休止モードには自動で移行しません。ただし、手動で行った場合には、通信中でもスリープ、休止に移行します。
- 新文字コード (第三水準漢字など) には対応していません。
- 本ソフトウェアの起動時に「このファイルを実行しますか？」というメッセージが表示される場合があります。[実行] をクリックしてソフトウェアの起動を続行してください。
- ネットワークカードを複数使用して同一PCに複数の (AutoIP以外の) IPv4アドレスが設定されている場合、正常に通信が行えない可能性があります。その場合、IPv4アドレスを一時的に1つにする必要があります。
- サービスパックの適用や、OSのアップデートを行うときは、キヤノンのホームページで最新の動作環境をご確認ください。

インストール

1 インストールパッケージの中の [WebcamDriverSetup.exe] をダブルクリックする



インストール画面が表示されます。

2 画面に従いインストールを進め、インストール完了の画面で [閉じる] をクリックする

デスクトップに本ソフトウェアが追加されるので、ダブルクリックして起動してください。

メ モ

- Windows ファイアウォールが有効になっている PC で本ソフトウェアを使用するには、ファイアウォール経由での通信を許可するアプリケーションとして、本ソフトウェアを登録しておく必要があります。登録しなかった場合、本ソフトウェアを起動したときにファイアウォールによってブロックされますが、[Windows セキュリティの重要な警告] ダイアログでアクセスを許可すると、本ソフトウェアを起動できます。

カメラを登録する

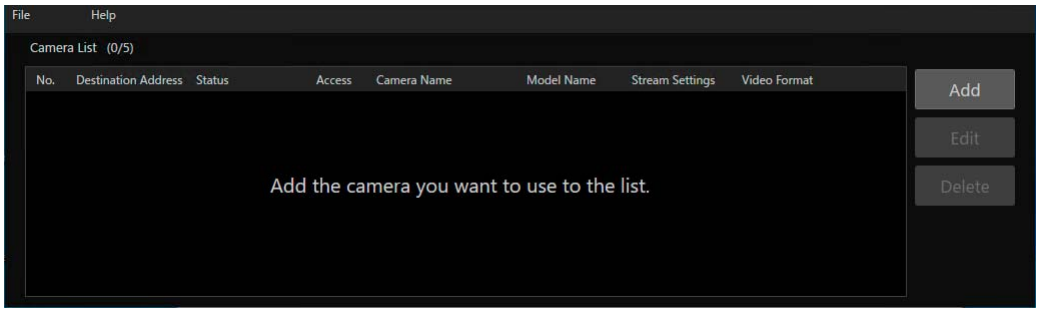
カメラを本ソフトウェアに登録する前に、ユーザー設定やネットワーク接続などの初期設定を行ってください。
カメラは５台まで登録でき、また、スタンバイ状態でも登録できます。

1 [スタート] > [Webcam Driver] をクリックして本ソフトウェアを起動する

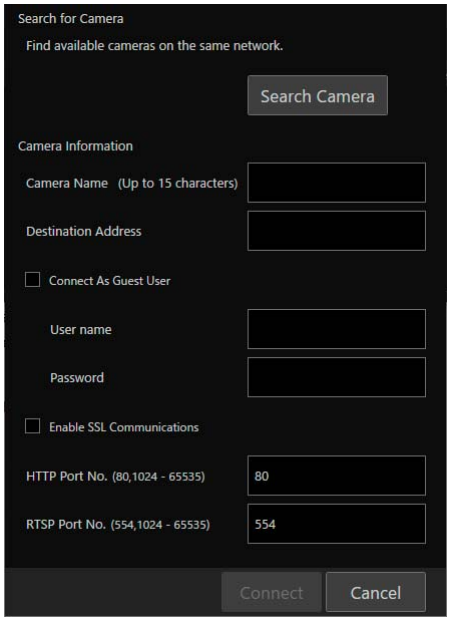
メ モ

- 本ソフトウェアを使用するときは、必要なアプリケーション以外はすべて終了させてください。
- デスクトップ上の [Webcam Driver] のアイコンをダブルクリックしても起動することができます。
- [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

2 [Add] (追加) をクリックする

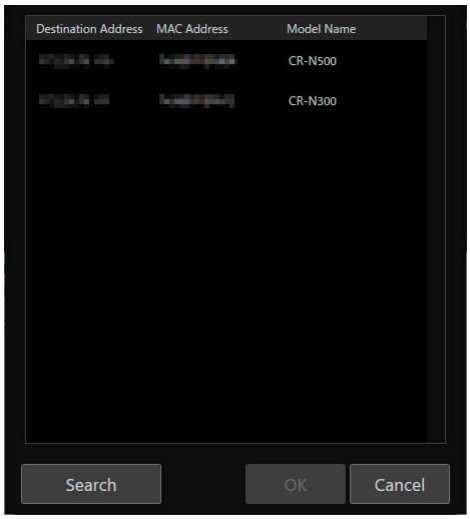


3 [Add Camera] (カメラの追加) ダイアログで [Search Camera] (カメラの検索) をクリックする



ネットワーク上のカメラが検索されて、[Search Camera] (カメラの検索) ダイアログに一覧で表示されます。
検索を行わずにすべての項目を直接入力することで、カメラを指定して登録することもできます。

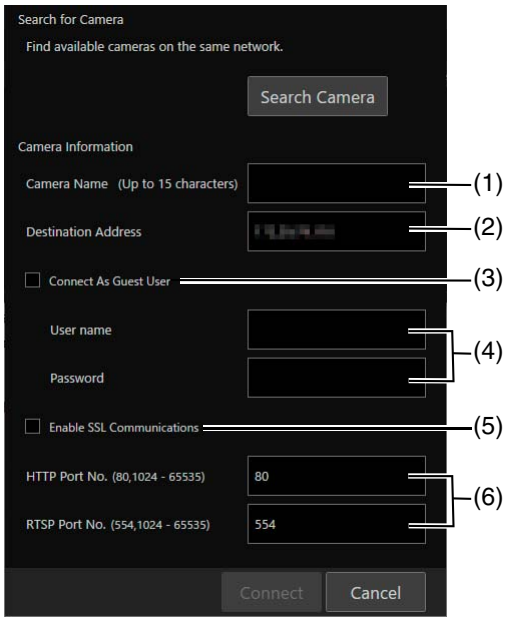
4 登録するカメラを選択し、[OK] をクリックする



メ モ

- カメラを再度検索するときは [Search] (検索) をクリックします。

5 [Add Camera] (カメラの追加) ダイアログで次の項目を入力する



(1) [Camera Name] (**カメラ名**)
本ソフトウェア上で表示する名前を決めます。15文字以内で任意の名前を入力してください。ここで入力したカメラ名は、あとで変更することができます。

(2) [Destination Address] (**接続先アドレス**)
検索されたカメラのIPアドレスが自動で入力されています。カメラの設定ページでIPアドレスを変更した場合は、[Edit Camera] (カメラの編集) ダイアログから接続先アドレスを変更してください (P. 10)。

(3) [Connect As Guest User] (**一般ユーザーで接続する**)
ユーザー名とパスワードの入力を省略する場合にチェックします。

(4) [User Name] (**ユーザー名**)、[Password] (**パスワード**)
カメラの管理者または登録ユーザーのいずれかのユーザー名とパスワードを入力します。

(5) [Enable SSL Communications] (SSL通信を使用する)
[Enable SSL Communications] (SSL通信を使用する) をチェックすると、HTTPSでカメラに接続します。登録するカメラでSSL通信できるように設定してください。

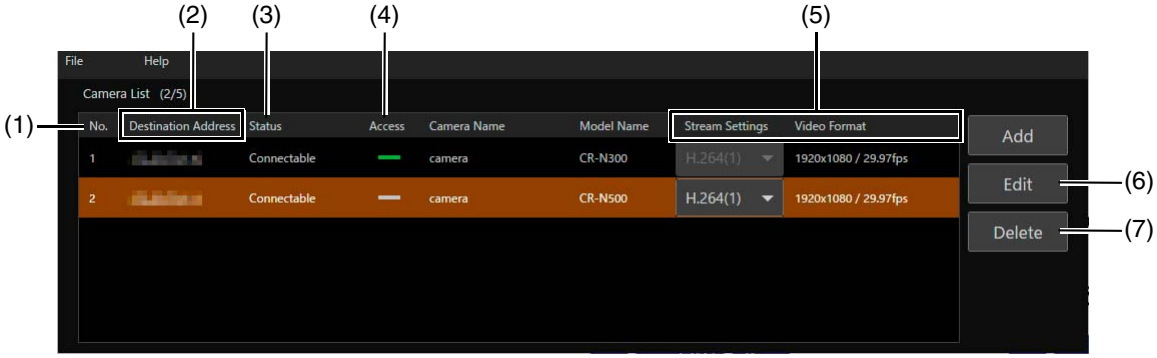
(6) [HTTP Port No.] (HTTPポート番号)、[RTSP Port No.] (RTSPポート番号)
カメラのポート番号を入力します。

メ モ

- 本ソフトウェア上でカメラ名を変更しても、カメラの設定ページで設定されているカメラ名は変更されません。また、設定ページでカメラ名を変更しても、本ソフトウェアに登録されているカメラ名は変更されません。
- カメラ名を変更するには、[Edit Camera] (カメラの編集) ダイアログで [Camera Name] (カメラ名) を編集してください。
- ユーザー権限の設定などのカメラの設定については、カメラの設定ページで行います。詳しくはカメラの使用説明書を参照してください。

6 [Connect] (接続) をクリックする

カメラが登録され、メイン画面の [Camera List] (カメラ一覧) に表示されます。
メイン画面では、カメラの基本情報や接続状態を確認したり、ストリーム設定を変更したりできます。



(1) [No.]
カメラの番号を表示します。Web会議ツール内では、この番号でカメラを識別します。

(2) [Destination Address] (接続先アドレス)
カメラのIPアドレスが表示されます。アドレスをクリックするとWebブラウザーが起動し、カメラの設定ページが開きます。

(3) [Status] (状態)
カメラの状態が次のように表示されます。
[Connectable] (接続可) : カメラが接続されている
[Connection error] (接続エラー) : カメラとの接続が切断されているか、カメラがスタンバイ状態である
[RTSP authentication error] (RTSP認証エラー) : RTSP認証でエラーが発生した
[Connection limit exceeded] (接続数超過エラー) : カメラの接続可能上限を超えて接続しようとしている
[Error] (エラー) : その他のエラー

(4) [Access] (アクセス)
Web会議ツールでカメラの映像を表示している際の接続状況が、次のように表示されます。
: 接続されていて映像が正常に表示されている
: 接続されているが、映像のコマ落ちが発生している
: 接続されていない

(5) [Stream Settings] (ストリーム設定) / [Video Format] (ビデオフォーマット)
配信する映像ストリーム番号を選択すると、カメラの設定ページで設定されている映像ストリームの映像サイズとビットレートが表示されます。映像コーデックはH.264にのみ対応しています。ストリーム設定を変更する際は、一度Web会議ツールとの接続を切断してください。

(6) [Edit] (編集)
カメラの情報を編集できます。情報を編集したいカメラを [Camera List] (カメラ一覧) から選択して [Edit] (編集) をクリックすると、[Edit Camera] (カメラの編集) ダイアログが開くので、カメラの情報を編集して [Connect] (接続) をクリックします。

(7) [Delete] (削除)
カメラの登録を削除できます。削除したいカメラを [Camera List] (カメラ一覧) から選択して [Delete] (削除) をクリックします。

Web会議ツールとの接続

本ソフトウェアに登録したカメラは、Web会議ツールで使用するデバイスとして選択できるようになります。
本ソフトウェアを使ってカメラをWeb会議ツールで使用するには、Web会議ツールでの設定が必要です。
Web会議ツールのマイク、カメラ設定で [Canon Webcam Driver (Audio *)]、[Canon Webcam Driver (Video *)] を選択してください。[*] はメイン画面の [No.] と同じです。使用したいカメラの [No.] を確認してください。

メ モ

- 本ソフトウェアを使って、Web会議ツールでカメラの映像を表示する際は、常に本ソフトウェアを起動しておいてください。
- カメラとWeb会議ツールの切断はWeb会議ツールで行ってください。

画像調整 ・カメラ制御機能

本ソフトウェアを使ってWeb会議ツールと接続したカメラは、Web会議ツールからカメラ制御や画質調整ができます。制御可能な項目は、お使いのWeb会議ツール、カメラの機種や設定によって異なります。

トラブルシューティング

販売店や裏表紙に記載のお問い合わせ先に連絡する前に、次のことを確認してください。

メ モ

- カメラ本体のトラブルシューティングおよびカメラの設定については、各使用説明書を参照してください。

問題	対処方法
Web会議ツールでカメラの映像が表示されない	• カメラの電源が入っていることを確認したうえで、本ソフトウェア上でカメラの状態が [Connectable] (接続可) であることを確認してください。 • カメラの設定ページでRTPを使用する設定になっているか確認してください。 • カメラの設定が正しく行われているか確認してください。 • カメラのストリーム設定がH.264に設定されていることを確認してください。 • 本ソフトウェアに同一のカメラを重複して登録している場合、同一ストリームを選択していないか確認してください。 • 同じカメラを複数のWeb会議ツールで使用していないか確認してください。 • 本ソフトウェアでカメラを登録する際に認証したユーザーに、映像配信の権限が付与されていることを確認してください。
映像のコマ落ちが発生している / 映像の動きがなめらかではない / 映像に遅れがある / 設定通りのストリームが出ていない	• 不要なアプリケーションやサービスを停止してください。 • 複数のカメラの映像を同時に使用している場合は、同時に使用するカメラの数を減らしてください。 • カメラの設定ページでH.264ストリームの映像サイズを小さく、フレームレート、ビットレートを低く調整してください。 • より性能の高いPCを使用して、動作を確認してください。
音声が出力されない	• 本ソフトウェアから音声を出力するには、カメラにマイクを接続している必要があります。カメラの設定ページで音声入力の設定を確認してください。 • カメラの設定ページで音声の設定を確認してください。 • Web会議ツールのマイク設定が正しく設定されていることを確認してください。カメラに接続したマイクを使用する場合は、[Canon Webcam Driver (Audio *)]を選択してください。
Web会議ツールで画像調整・カメラ制御ができない	カメラを登録したユーザーアカウントにカメラ制御の権限が付与されているか、カメラの設定ページで確認してください。
デスクトップのアイコンに が表示される	このアプリケーションはドライバー設定を変更するため、Windowsの機能により表示されます。

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、サポートページまたはお客様相談センターをご利用ください。

■ キヤノンお客様相談センター

0570-07-0032

受付時間 <平日> 9:00～17:00 (土・日・祝日および年末年始、弊社休業日は休ませていただきます)

上記番号は0570から始まるナビダイヤルを利用しています。
上記番号をご利用いただけないかたは、03-6634-4268 をご利用ください。
IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■ キヤノン　リモートカメラシステムホームページ

リモートカメラシステムホームページにも最新情報を掲載しておりますので、ご利用ください。

キヤノン　リモートカメラシステム製品情報

canon.jp/remotecam

BIJ-7334-002
© CANON INC. 2025